

第1章 はじめに

①目的

本市では、平成25年10月に、本市の創造都市を推進するための総合的かつ基本的な指針として「高松市創造都市推進ビジョン（総論・各論）」を策定し、産業、ものづくり、観光、文化・スポーツ、国際交流などに関する施策を一体的に推進しながら、高松の都市ブランドイメージの向上を積極的かつ効果的に図り、「瀬戸の都・高松」の魅力を全世界に発信してきました。

ビジョンの策定から5年が経過しようとする中、国では地方創生、一億総活躍社会の実現のための取組や、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定と、それに向けた文化プログラム（beyond2020^{*}など）への取組が行われるなど、国際的な文化芸術の振興を通じた地方都市の活性化や、国民一人一人が自分の力を発揮し、生きがいの持てる社会の実現を目指すよう、大きく舵を切り始めております。

このビジョンに基づくこれまでの成果として、香川県が県外観光客を対象として実施している香川県への再来訪意向調査で「ぜひ来たい・来たいと思う・やや来たいと思う」の割合が9割を超えるとともに、本市が18歳以上の市民を対象として実施している市民満足度調査では「最も満足度が高かった施策」として「文化芸術の振興」が選ばれるなど、ブランド力のある都市を目指した本市のまちづくりについて、内外から高い評価をいただくことができました。

このような成果を受けて、今回改訂を行う「第2次高松市創造都市推進ビジョン」では、前回のビジョンで定めた施策展開や基本的な方向性は継続しつつ、本市の取組の特色の一つである「こども」により着目するとともに、本市のブランド力をより高めるため、世界の中での高松の位置付けを強く意識し、ユネスコ創造都市ネットワークへの将来的な加盟申請の可能性も踏まえるなど、新たな施策・事業を加えるとともに、その効果を検証する成果指標などを定めるものです。

②創造都市とはなにか

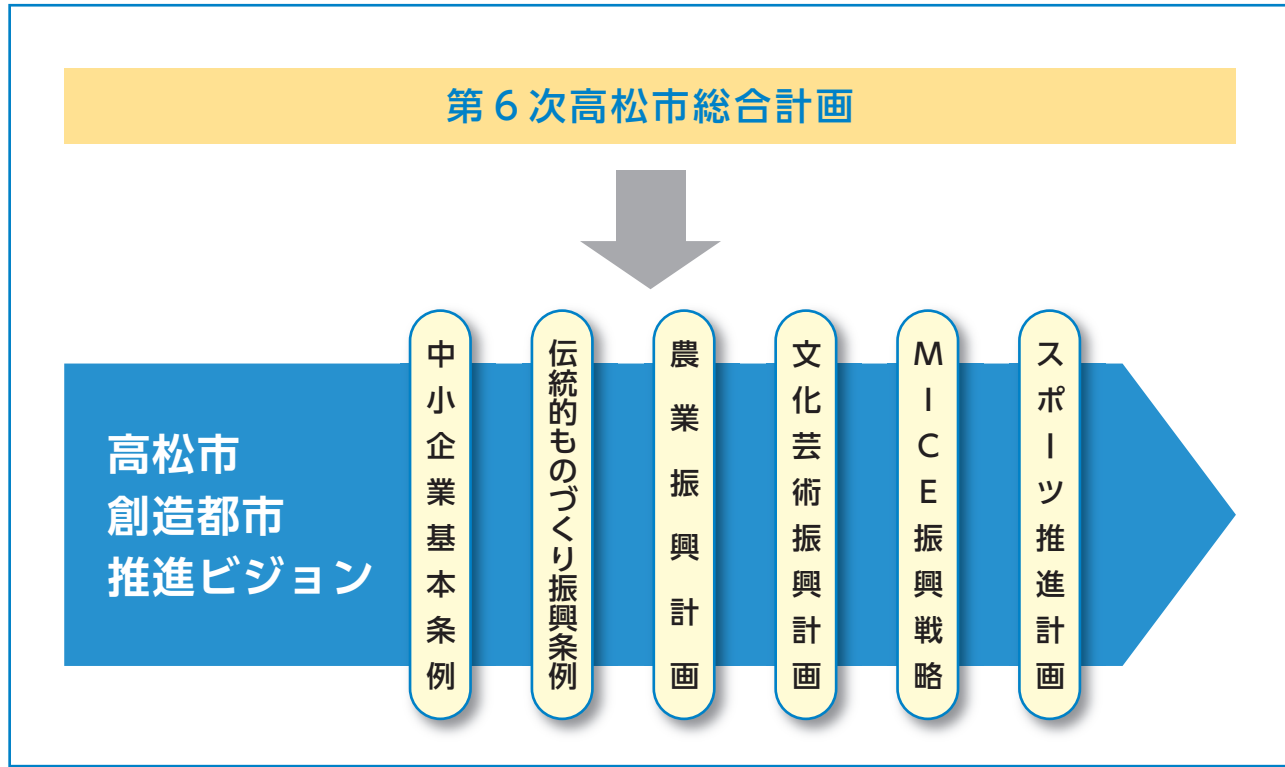
「創造都市」とは、それぞれの都市の個性や特徴をいかした上で、おおむね次のような条件を満たすものです。

- 市民による、新たな活動が多数発生している都市
- 文化と産業の創造性に富んでいる都市
- 脱大量生産の革新的で柔軟な都市経済システムを備えている都市
- 世界的な環境問題や、局地的な地方特有の課題に対して、新しい方法で問題解決を行えるような「創造の場」に富んでいる都市

市民一人一人が創造的に働き、暮らし、活動できる都市

※のある用語の解説については、P.61以降に記載

③本市の上位計画・関連計画



●産業経済政策

平成24年12月に策定した **高松市中小企業基本条例** に基づき、国、県、経済団体、大学、金融機関等との連携協力により、中小企業者の経営の革新及び経営基盤の強化の促進、創業の促進、人材の確保・育成への支援等、中小企業振興施策を実施しています。

また、平成26年3月に **高松市伝統的ものづくり振興条例** を制定し、高松ならではの伝統的ものづくりをさらに魅力あるものにし、発展させていくため、ブランド力の向上・販路開拓、普及啓発、人づくりの推進など、ものづくり振興施策を総合的に推進し、伝統文化の継承及び発展に寄与しています。

農業の分野においては、農業従事者のさらなる高齢化・減少による労働力不足や耕作放棄地の増加など、大きく変化している農業を取り巻く状況や、担い手の確保・育成や農地の集積・集約化などの次世代の課題に対応するため、平成28年3月に新たな **高松市農業振興計画** を策定し、これからの農業の目標、基本方針等を明確にし、その実現に向けて取組を行っています。

●文化・観光・スポーツ政策

平成25年12月に制定した **高松市文化芸術振興条例** に基づき、27年3月に **高松市文化芸術振興計画** を策定し、「市民を始め、文化芸術の担い手の自主性や創造性を十分に尊重する」、「誰もが、文化芸術に広く親しむことができる環境を整える」、「文化芸術の担い手が協働し、個性豊かで魅力に満ちた創造都市高松を創出する」、「伝統を継承するとともに、新たな文化芸術を享受・創造する」という4つの方針を基に、「文化芸術を通して、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまち、高松の実現」を目指しています。

また、本市のまちづくりにMICE*を積極的に活用するため、**高松市MICE振興戦略** を平成29年3月に策定しました。地域への経済波及効果、交流人口や観光客の増加、ビジネス・イノベーション*の機会の創造や、都市のブランドイメージの向上などを目的として、MICE*の振興に積極的に取り組んでいます。

さらに、平成28年3月に策定した「高松市スポーツ推進計画」では、5つの基本方針を定め、市民一人一人が生涯を通じたスポーツライフを創造するために、スポーツの多面的な役割を改めて明確にした上で、スポーツによるコミュニティの醸成や、高齢社会、障がい者に対応した既存スポーツ施設のバリアフリー化などスポーツを取り巻く環境を整備する中で、市民のニーズに即した効率的・効果的な施策を展開しています。

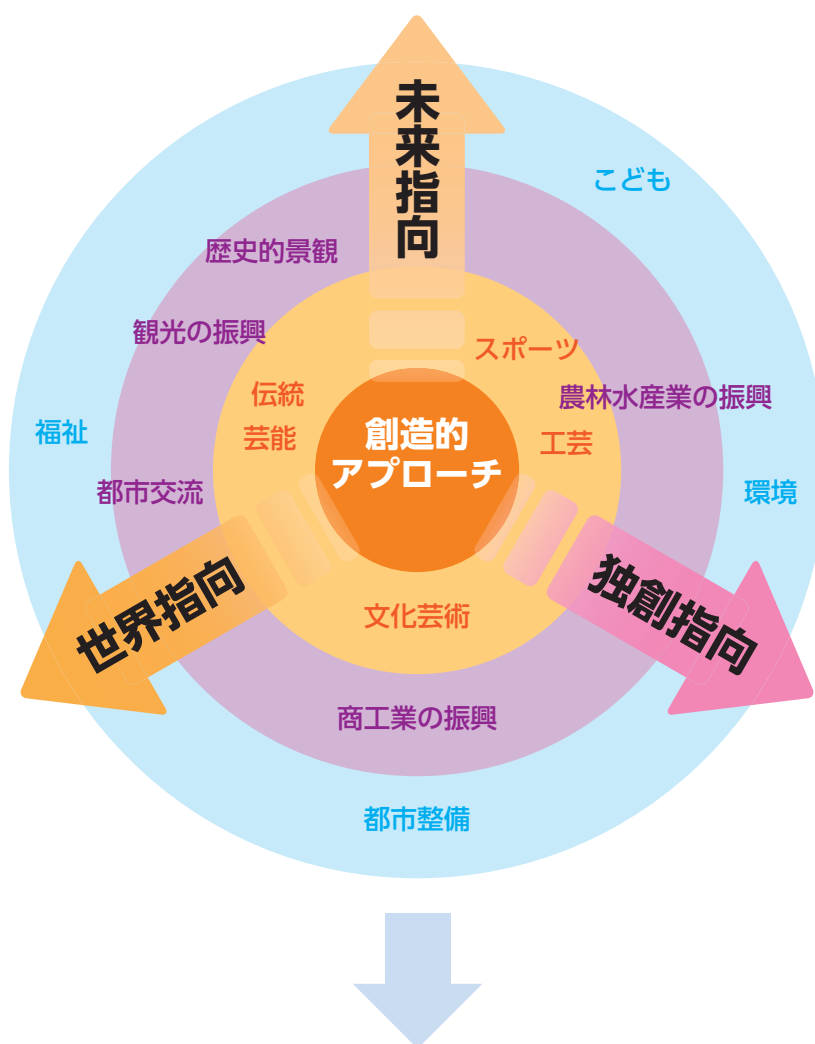
④ビジョンの期間

平成30（2018）年度から2023年度までの6年間とします。

⑤創造都市推進のイメージ

3つの戦略「**独創指向**：独創的な高松ブランドを編集する戦略」「**世界指向**：世界に向けてグローバル*にひらく戦略」「**未来指向**：未来に向けてゆるやかに連携し、段階的に取り組む戦略」を通じて、創造都市推進局を中心に、文化や産業などの政策・事業に取り組むとともに、こどもや福祉・環境・都市整備などについても、柔軟かつ横断的に全市を挙げて、「魅力にあふれ、人が輝く創造都市」の実現に向けて取り組みます。

第6次高松市総合計画 『活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松』



魅力にあふれ、人が輝く創造都市